

# 来週の“売り物”記事はこれ



2014年6月6日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 欽ちゃん球団<茨城GG>

### 片岡安祐美監督の孤闘

8日(日)



「茨城ゴールデンゴールズ」といえば、タレントの萩本欽一さんが2005年に結成した社会人野球のクラブチームです。チームの看板は、11年に監督に就任した内野手、片岡安祐美さん(27)。タレントとしても活躍しチームのマスコットの存在ですが、小3から野球のキャリアを積み、女子野球世界選手権の日本代表に何度も選ばれたことのある実力派です。その才能を欽ちゃんに認められ、創設以来、茨城GGで活躍してきましたが、意外なことを口にしました。「私、嫌いでした。『欽督(萩本欽一さん)』のことが」。



笑顔の影には、萩本さんとの葛藤があったようです。萩本さんらのチーム関係者の長時間インタビューを通して、10年目を迎える片岡さんの「孤独な闘い」に迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

## プロ野球16球団構想

### 本当にできるの? 経済成長につながるの?

夕刊2面特集ワイド 9日(月)



自民党が先月発表した成長戦略への提言に、プロ野球のチーム数を12球団から16球団に増やす構想が盛り込まれた。静岡県、北信越、四国、沖縄県など球団の本拠地がない地域に新設して4リーグ制とすることを提案し、政府に支援策の検討を求めた。安倍晋三首相も「地域活性化に役立つのではないかと乗り気だが、ほとんどの球団が赤字経営という現実を目を向けると、たくさんの「？」が浮かぶ。実現性や経済成長への効果はどれほどなのかを探る。

## 「西原理恵子のおかん飯」

おんなのしんぶん面 8日(日)



漫画家の西原理恵子さんが料理家の枝元なほみさんに料理の手ほどきを受ける人気コーナー。今週は「ポークソテー 即席オニオンソース」。家庭で残りがちなスープのもとを使って、本格的なソースを作ります。これが絶品です!



## ミツバチの恵み

くらしナビ面 10日(火) から3回



私たちの食卓でおなじみの、イチゴやスイカ、ナスにリンゴなどの果物や野菜が実るのに、畑を飛び回るミツバチが大きな役割を果たしているのをご存じですか? そのミツバチは今、蜜を集める菜の花やレンゲなどの花畑の減少や、一部の農薬の使用拡大で、危機的状況にあります。ミツバチをめぐる現状を報告します。

## 変わる婦人誌

くらしナビ面 8日(日)

時代を映す鏡でもある婦人誌。今年4月、24年の歴史に幕を閉じた、主婦の生活社の「すてきな奥さん」は、男性が一家の大黒柱で、専業主婦と子どもという家族を主流として対象にした雑誌でした。時代は移り変わり、今月創刊する後継誌は、共働き家庭の「兼業主婦」をターゲットにした内容になりそうです。



## サッカーW杯ブラジル大会開幕

日本時間 13日(金) から32日間



サッカーの世界カップ(W杯)ブラジル大会は、日本時間13日午前5時にブラジル対クロアチアで開幕します。米フロリダ州での直前合宿でコンディションを上げる日本代表は、世界の頂点を目指して強豪国と対戦します。日本代表の初戦は日本時間15日午前10時からのコートジボワール戦。毎日新聞はスポーツ面を拡充し、サッカーのさまざまな知識や大会データを図解する「Footラボ2014」を掲載するなど、ワイドでビジュアルな紙面をお届けします。また日本代表の1次リーグ3試合の前日と翌日は、最終面で日本代表を特集。本田、岡崎、大久保各選手に肉薄するストーリーや迫力ある写真を展開します。W杯は毎日新聞でお楽しみください。

## 企画「球界再編から10年 第1部・2004 何が起きたのか」

11日(水)から5回

プロ野球界は10年前の2004年、近鉄とオリックスが合併をしたのを機に、さらなる球団合併を進めて10球団へ縮小し1リーグ化しようという動きが活発化しました。さまざまな立場・人物・球団の思惑や動きが交錯したが、結果的に1リーグ化は頓挫し、新たに楽天が球団を創設することで12球団・2リーグが維持されました。結果的に体制は変わらなかったこの「騒動」。しかし、これを機にセ・パ交流戦の導入、球団経営の改善などの副産物が生まれ、その後のプロ野球界が変化する大きな節目となりました。当時の水面下での動きを探り、関係した人々に事情を語ってもらうことで、プロ野球界の転換点となった「球界再編騒動」は何だったのか、何をもたらしたのかを解き明かします。

